

双塔



新潟教会 2013年8月

N

○. 303

キリストのことより自分のことを



主任司祭 ラウル・バラデス

今年6月、メキシコに行って来ました。

私が学生時代にお世話になった主任司祭の叙階金祝の祝いに臨席するためでした。

とてもユニークな方で、心にあるものをそのまま語ってくれる司祭でした。そのせいで、ご本人も周りも困ってしまうときがあり、今回も例外ではありませんでした。説教が終わったときでした。

30年前にいた小教区の信徒の一人は、その教会に40年ほどカテキスタとして奉仕してきた方を連れてきて、神父さんの前に立たせました。再会の喜びのあまりかもしれませんが、90歳になったそのカテキスタを見たときに、神父さんは大きな声で、しかもマイクのスイッチを入れたまま、『あら、まだ生きているの?』と言ってしまいました。皆、大笑いでしたが、ああいう発言(失言?)はあの神父さんにしかできないものなのでしょう。素直な心の広い方ですのでみなに理解され、許されるのです。

説教の時に神父さんが50年間の司祭生活での最大の失敗についてお話ししてくださいました。

例のカテキスタの方が教会から転勤になった数ヶ月後、神父さんはその教会のある信者の方と話す機会があったそうです。その方は神父さんの在任時に色々な面で一生懸命協力してきた人でした。

しかし、教会に行かなくなりました。

「どうして教会に行かないのですか?」との神父さんの質問に、「神父様がいなくなってから、教会の雰囲気がいぶん変わって、私に合わなくなってしまった。神父様が戻ったら私も教会に戻ります。」と答えたそうです。神父さんはその方に、「そう言われると心が痛いです。あなたの小教区での8年間で失敗でした。キリストの信者ではなくて、私のファンを育ててしまったからです。これは司祭として大失格です。」と言われました。さらに続けて、「当時、私は若くてバリバリ頑張っていました。もっともっと司祭職の本質、洗礼者ヨハネの精神を学ぶべきでした。それは『あの方は栄え、わたしは衰えねばならない』ことです。もしかしたら、私はその教会での8年間で、キリストのことではなくて自分の趣味、知識、性格、自分自身を伝えていただけかもしれません。」と話を終わりました。

セルヒオ・ムリージョ神父様、司祭としての50年間、お疲れ様でした。そして、最後まで指導くださったことを心から感謝致します。

そよかせ！ 便り

■ みんなで草取り ——— 6月23日（日） ———

年間第12主日のミサ後、札幌教区の新司教が任命され、菊地司教様は新潟教区だけの司教様に戻られた、とのお知らせに拍手がわいた。その後は、みんなで教会敷地内の恒例の草取りを開始。炎天下にもかかわらず、教会学校の子供たちも草取りや雑木集めなどの作業に汗を流した。ルルド前は日蔭ができて、新司教館建設に働いてくださっている方々の憩いの場にもなりそうだ。

■ 北山原殉教祭 ——— 7月14日（日） ———

福者ペトロ岐部と187殉教者のうち、53人の福者殉教者がいる米沢市の北山原（ほくさんばら）で、記念のミサが捧げられた。新潟地区からは40名ほどがバス1台をチャーターして米沢入り。ミサには山形地区の方々を含め約150名が参加。当日までは大雨であったが、ミサが始まる11時ころには青空が顔を出した。菊地司教様は「400年前の英雄的な福者殉教者の生きた姿を私達の生きる道の模範にしたい」とお話を始められた。続いて「現代社会の殉教とは、他人のために自分の関心や願い事を捧げて奉仕をすることである」と4月7日の教皇フランシスコの説教を引用。「信仰の先達に対して自信を持って自分の人生を語るができるような信仰生活でありたい」と結ばれた。ミサ後の昼食は米沢牛の美味しいお弁当。そして、新潟地区からの参加者が、往路のバスの中で練習した“マラナタ”など2曲を披露した。



《みんなの広場》

第3回 東日本大震災復興支援全国担当者会議 ～福島県内の視察から～

これ、何だと思いませんか？



実はこれ、空間放射線量を計測する線量計です。

場所は、カトリック二本松教会。

同じ敷地にはカトリック幼稚園もあります。

下の写真から、0.242 マイクロシーベルト（毎時）と読み取ることができます。福島県内のすべての幼稚園（保育園）・小中高校、その他公共の場所に、このような線量計が設置されているのだそうです。

郡山市内の公園の広場にもありました。

こんなモノが、町中によきによきと至る所に立っています。

個人向けには簡便な小型線量計（ガラス計数管など）が使用されていました。マイクロシーベルトなどという、専門家以外には縁のなかった数字を気にしながら生活しなければならないのが、福島の実状です。

そのような生活、ちょっと想像してみてください。（広報部）



《2013年 8月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当 司祭
月曜日（不定期）	午前10:00～	キリスト教のQ&A	三崎 神父
水曜日（毎週）	午前10:00～	聖書クラス	ラウル神父
第2 土曜日	午前10:00～	カトリック教会の教え	ラウル神父

※「カトリック教会の教え」は、予定表を御覧ください。

※ 月曜日の「キリスト教のQ&A」は開催できない日がありますので、お問い合わせください。

※ 講座に参加される方は、担当司祭にご連絡ください。

ミサ時間のご案内

† 主日（日曜日）7時・9時半・12時※ 18時

※ 第1日曜日は英語ミサ

† 週日（金曜以外）7時

† 金曜日 10時（第1金曜日 10時・18時）

カトリック新潟教会 月刊「双塔」

毎月1回 最終日曜日発行

編集・発行／カトリック新潟教会

教会運営委員会広報部

〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656

TEL : 025-222-5024 FAX : 025-222-5054

